

様式第7号（第5条関係）

視 察 結 果 報 告 書

東松山市議会議長

関口 武雄 様

会 派 名 黎明会

代表者名 藤倉 憲

月 日	視 察 地	視 察 内 容
5月18日（水）	茨城県猿島郡 境町	こども食堂の取組について
		英語教育について
		自動運転バスについて
		以上、視察に関し別紙のとおり報告いたします。

## 茨城県猿島郡境町

- ・視 察 者 大山義一、田中二美江、藤倉憲
- ・視察場所 株式会社さかいまちづくり公社
- ・視察日時 令和4年5月18日（水） 午前11時から午後3時
- ・視察項目
  - ・こども食堂の取組について
  - ・英語教育について
  - ・自動運転バスについて
- ・説 明 員 境町観光協会事務局次長 柴崎太郎 氏  
境町移住定住コンシェルジュ 萩原扶美 氏
- ・視察目的  
ふるさと納税関東一、自治体初の自動運転バス実用化等、何かと話題の多い境町の手法を学ぶ。

### ・要旨（報告事項）

#### こども食堂の取組について

2020年コロナ禍の影響により家計が逼迫し子どもの食事に困っている家庭と客の減少に悩む飲食店を同時に支援する目的でふるさと納税を財源に「境町こども食堂」の運営開始。現在21店舗が参加しており、年間提供数は2万食を超える。

#### 英語教育について

実用的な英語力を身につけグローバル社会で活躍できる人材を育成することを目的とし、全ての町立小学校（5校）、町立中学校（2校）に複数のフィリピン人講師を配置。講師は一日中学校に常駐し、休み時間や給食の時間も共に過ごす。さらに、町内小中学校を英検会場に登録。英検受験料を町が負担し全員が受検できるよう制度を整備。

#### 自動運転バスについて

境町には鉄道がなく公共交通が脆弱な状態にある。そのため、高齢者は運転免許証の返納ができず、また若者は東京に行きづらい状況にある。誰もが生活の足に困らず住み続けられるよう2020年11月より運行開始。

### ・視察結果、所感

「すべての子どもが英語を話せる町に」のスローガンのもと行われている様々な取組は、本市においても取り入れていきたいと思う興味深い内容でした。また、職員を実習研修生として県や国、民間企業へ派遣することが人材育成につながり、よりスピーディーに政策の実現がなされている要因だと思う。さらに、ふるさと納税38億円、歳入決算額216億円も人口2万4千人の町として驚きです。しかし、事業のほとんどがふるさと納税で行われており自主財源ではない。持続可能なものなのか危惧される。